

杉原ウィーク 2018 第19回杉原千畝記念短歌大会入賞作品(敬称略)

人道大賞(学生部)

先人の学んだ庭のオリーブよ若き我らはその頂きの葉

愛知県立瑞陵高等学校2年 安藤遙香



〔評〕杉原千畝の学んだ学校の庭にたつオリーブの樹。その先人につづくわたしたちは、頂きにそよぐもつとも若い葉だ、と高らかに歌い上げています。五年ほど前にも同じ学校の生徒の歌が大賞になりました。〔わたしは風がどんなに吹こうとも決してゆらがぬオリーブの木 佐藤千咲輝〕覚えておいでしようか。「先人」とはひとり千畝のみならず、その思いを歌いつく先輩の誇りも込められているでしょう。驚きやあるいは不安までもふくめて、頂きの未知の風に触れる喜びを弾けさせた若さに好感をおぼえました。(平井 弘)

人道大賞(一般部)

前線に置かれた祖父は水しぶきかかったような服を着ていた

埼玉県和光市 岩崎雄大



〔評〕戦地で撮りたいちまいの灰いろの写真には、スクールでも浴びたように濡れた軍服の祖父が立っています。おそらくは行軍で汚れた汗なのでしよう。子どものころに見た忘れられない記憶があります。凱旋通りとよばれていた駅前を通りを行進する歩兵たち。日の丸を振るわたしの前を通るひとりの兵の下腹がぐつしよりと濡れていました。用便さえもままならぬ軍隊というものに、言い知れぬ不安を覚えたものです。前線であればなおのこと、「水しぶきがかかる」程度のことではない現実があったということなのでしょう。(平井 弘)

(小学生部)

愛賞

おにごっこいつも同じ子おになるよくないおにはぼくたちかなあ

八百津町立八百津小学校3年 田中温大

十一才終戦むかえたおじいちゃん必死に耐えた今ぼくの年

犬山市立犬山北小学校6年 伊藤 蓮

心賞

思いやりひとりひとりひとりのやさしさが世界を少し変えていくんだ

名古屋市立平和小学校6年 崔 準

もうすぐパズルがかんせいするよ。おめでとパチパチみんなでパチパチ

八百津町立錦津小学校3年 長谷川義忠

勇氣賞

きゅうりのねはつぱがが大きくなったんだこれもいのちの一つなのかな

郡上市立大和南小学校2年 さかいふうが

校庭にカーンカーンと鳴りひびく平和のかねは平和の印

名古屋市立平和小学校5年 竹内真優

佳作

生きるため小さくまるいしんめ出しぐんぐんのびるかんようしよくぶつ

八百津町立潮見小学校3年 大ざわ陽向

アオバズクひなとよりそう坪谷小家ぞくみんな今年も来てね

日向市立坪谷小学校4年 三浦柚希

どぶがわでもさかなはまえにすすんでるわたしもいっぽすすまなきや

八百津町立久田見小学校2年 大のひめり

ちうねさん平和なせかいをねがってた今度はぼくらが平和を守る

八百津町立八百津小学校4年 小池きょうすけ

選者 平井弘 小塩卓哉 後藤すみ子

やさしいと思いやりって同じだねみんなをえがおにする言葉

八百津町立久田見小学校3年 大腸七星

(中学生部)

愛賞

思いやり込めた言葉は温かくスマホなんかで伝えられない

昭和女子大学附属昭和中学校2年 今林双葉

被原爆地なのにもう核に守られてなにやってるの？忘れちゃったの？

八百津町立八百津中学校3年 坂元秋桜

心賞

人間はなぜ戦争をするのだろう？死者の声満つ日本の八月

美濃加茂市立西中学校1年 市原幹大

友達に気を遣うのか思いやるのか似てるようだけど全然ちがう

可見市立西可見中学校2年 下出彩乃

勇氣賞

大切にしないのならその命あげてくださいアフリカの子に

美濃加茂市立西中学校1年 福井梨乃

つゆの中元氣にのびるあじさいはうす暗い中かがやいていた

美濃加茂市立西中学校1年 樋口琳太

佳作

あなたからあふれ出てくる優しさにわたしのこころあたたかくなる

昭和女子大学附属昭和中学校1年 前平佳音

えん筆をにぎるその手が増えるたび平和だなあとこぼれる言葉

昭和女子大学附属昭和中学校1年 大村南都江